



くまがや

# 農委だより

No. 82

令和7年  
10月1日発行

祝 熊谷市誕生20周年



農業用ドローンによる水稻直播栽培  
(左から)吉岡さん、大友さん、中山さん、小野澤さん



青パイヤ研究会

(左)小林副会長、(右)大久保会長



きゅうり・トマト栽培

須長さん



## きゅうり・トマト農家

須長 栄さん(相上)

相上地区の須長さんは、現在、ハウスできゅうり(1000㎡)、トマト(750㎡)の栽培を行っています。きゅうりは冬季から6月下旬にかけて、抑制栽培(露地栽培と収穫時期をずらす)に適した品種であるマジカル1号を手掛け、ハウスの室温が12℃以上になるように管理し、長い期間収穫しますが、近年の燃料値上がりに頭を痛めています。また、夏場はマリンという実が太くならず作りやすい品種を栽培します。この時期の水やりは朝の涼しい時間に行いますが、特に今年は猛暑の影響でハウス内の室温もすぐ高くなってしまい、熱中症に気を付けながらの作業となります。

また、トマトは麗旬<sup>れいしゆん</sup>という大玉トマトを栽培し、しまった果肉と甘さが特長です。11月上旬、ハウスに定植し、開花時期には受粉にクロマルハナバチを使い作業効率を上げています。大里地

区の直売所で販売されていますので地元産農作物をぜひご購入ください。



## ドローンによる播種

新規就農者

中山 雄司さん

埼玉県農業大学校を卒業し、今年、大里地区で新規就農した(株)TYサービスの中山さんは、早速約7ヘクタールの水田で最新機器のドローンを用いた水稻湛水直播を行い、県や市、JAなどの関係機関の職員や近隣の農家などがこの作業を見守りました。

中山さんは同法人の吉岡さんらと共に6kgの特殊コーティングした種を専用の容器に入れ準備を完了すると、自らが操縦するドローンにより地上2メートルほどの高さから播種作業を行いました。当日は天候にも恵まれ、2反の圃場の播種は数十分で完了しました。

播種作業から3か月が経過した現在の生育状況を伺うと、「昨年にも耕作されていた田は、今回のドローン直播でも問題なく育っているが、耕作放棄地となっていた田は、雑草が沢山生えてし

まった。来年は、ドローンによる直播、田植え機による直播、田植え機による苗定植と使い分けていきたい」と今年の反省を生かして来年の計画を早くも思い描いています。



直播中のドローン



## 熊谷といえば青パイヤ 熊谷青パイヤ研究会

熊谷青パイヤ研究会は令和4年1月に発足しました。研究会の会長を務める大久保照夫さんが栽培を始めたのがきっかけとなり、「熊谷といえば青パイヤ」と全国の皆さんに知っていただくことを目指し、活動を続けています。令和5年度には、熊谷市から「熊谷ファームラボ農産物」の認定を受けました。

研究会事務局長の新島一英さんによると、現在、会員数20名で大里農林振興センターやJAくまがやの協力のもと、栽培技術、栽培方法、加工、調理の研究を進めています。栽培する品種の中でも「バンビーノ」という品種は、2kgを超える実をつけることもあり、5月の連休前に苗を植え付けてからは、収穫までほとんど作業が不要で農薬も必要なく、熊谷の気候にも適しているとのこと。

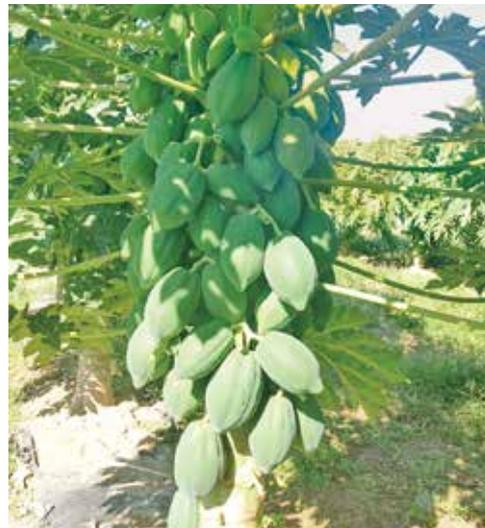
今年も8月下旬から収穫が始まり、市内JA農産物直売所などで販売しています。調理方法などは右のQRコードを御確認ください。



青パイヤ  
クッキング



くまがや青パイヤ研究会  
産業祭にも出店します。



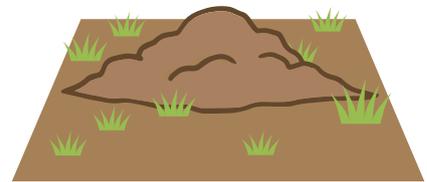
たわわに実った青パイヤ



～あなたの農地が狙われています～  
**違法な土砂の堆積にご注意ください！**

### 狙われるのはこんな農地

- ・長年作付けされていない農地
- ・草が生い茂り、手入れがされていない農地（遊休農地）
- ・すでに一部に土砂等が置かれているような農地



悪質な業者の場合、言葉巧みに話を持ちかけ、土地所有者の同意の有無に関わらず、法令手続きを無視して大量の土砂等を堆積する事例（ゴミや残土が積まれてしまうケース）が発生しています。農地改良が目的であっても、無断で土砂を堆積することは農地法違反にあたるほか、土砂の堆積に関する他法令の手続きも必要です。

無断で土砂を置かれてしまった場合でもその責任や撤去費用負担が土地所有者に及ぶこともあります。

トラブルに巻き込まれないよう、安易に農地を貸さない、定期的に農地を見回るなどして、御自身の農地を守りましょう。

## 農業者年金で安心・ゆたかな老後を

—国民年金に上乘せすることで、

将来の年金額を増やすことを目的とした年金制度(確定拠出型年金)—

★農業者年金加入要件①～③を満たせばどなたでも加入できます。

- ① 年間60日以上、農業に従事
  - ② 国民年金第1号被保険者(保険料納付免除者は除く)
  - ③ 20歳以上65歳未満(60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者に限る)
- 終身年金。生きている間は一生受給。(80歳未満死亡時、死亡一時金あり)
- 納めた保険料は、全額、社会保険料控除の対象。



◆農業委員会事務局 ☎048-501-5501

## 「地域計画」話し合いへのご参加をお願いします!

### 地域計画とは?

高齢化や人口減少により、耕作者の減少や耕作放棄地が拡大し農地が適切に利用されなくなることが全国的に懸念されています。

本市においても例外ではなく、令和2年の農家の平均年齢は70.5歳で埼玉県平均と比べて1.8歳高齢となっています。また、販売農家数は令和2年に1,663軒であり、10年間で45.3%減少しています。一方で遊休農地は令和6年に117haと令和2年から22ha増加しているような状況です。

今後、さらに農業者の高齢化や耕作放棄地の増加が進むことが想定されており、少ない耕作者でも効率的に農地を耕作、保全できるように農地の集約を図り、次の世代へ農地を引継いでいくことが課題となっています。

このような課題の解決に向けて地域の関係者が話し合いにより糸口を探り、これまで利用してきた農地を将来に引き継いでいくための方法を示したものが地域計画です。

また、この計画では将来の農地利用を一筆ごとに地図に示した「目標地図」も作成されています。

本市では、市内を24地区にエリア分けし、各地区で話し合いを行い、令和7年3月31日に地域計画を策定しました。

### 地域計画の見直し

令和7年3月に策定された地域計画ですが、

毎年1回程度見直しのための話し合いを市内24地区にて行います。今年度は8月から9月にかけて12地区で既に話し合いを行い、出席いただいた方の今後の経営に関する意向や今後の集約に向けたご意見をいただきました。

残りの下記12地区については12月から2月にかけて話し合いを行いたいと考えております。開催日が確定しましたら本市ホームページ等でお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

開催予定月	令和7年12月～令和8年2月
開催予定地区	本店・大幡地区、成田地区、星宮地区、久下地区、山王地区、三尻地区、別府地区、日向ほ場整備地区、市田北部地区、市田南部地区、吉見北部地区、吉見南部地区
内容	・今後の営農に関する意向について ・将来の農地利用について

### 地域計画策定による今後の変更点

地域計画内の農地において農地転用あるいは農振除外を行おうとする場合、地域計画達成への支障の有無を確認する必要があります。

目標地図を確認して支障の有無を判断し、支障がある場合は、農地転用申請前の手続きとして、地域計画の変更手続きが必要となります(除外申出については同時申出でかまいません)ので農業政策課までご相談ください。

◆農業政策課 ☎048-588-9990(直通)

# 『2025彩の国食と農林業ドリームフェスタ 第21回熊谷市産業祭 第12回くまがや交通安全フェア』

今年度は『熊谷市誕生20周年記念 第21回熊谷市産業祭』として、彩の国食と農林業ドリームフェスタ、くまがや交通安全フェアとコラボ開催いたします。産業祭エリアでは昨年度同様、熊谷産の野菜や菓子、飲食物の販売等を行います。詳しくは、市報11月号と同時配布するパンフレットをご覧ください。



## とき

11月15日(土)～11月16日(日)  
午前10時～午後3時

※くまがや交通安全フェアは11月16日(日)のみ

## ところ

熊谷スポーツ文化公園内  
(にぎわい広場及び陸上競技場)

## 農産物共進会の開催のお知らせ

第21回熊谷市産業祭において農産物共進会を開催します。

皆様が丹精込めて育てた熊谷産の農産物の素晴らしさをアピールするチャンスです。

また、出品農産物別に優秀賞を選考し、表彰します。多くの皆様の出品をお待ちしております。

### 【出品の範囲(優秀賞対象農産物)】

- ・主穀(玄米・麦類)・豆類(大豆・小豆・ごま)・芋類(大和芋・里芋)
- ・野菜類(ねぎ・白菜・ブロッコリー・大根・キャベツ・キュウリ・ほうれんそう・ごぼう・その他)
- ・果実(果実全般)・農産加工品(味噌)

### 【出品申込方法等】

- ・出品物は、市内在住農家の生産物・加工品とします。
- ・1品目1点とし、1軒につき3品目まで出品できます。
- ・申込書は、JAくまがや各支店及び各営農経済センターに用意してあります。
- ・申込締め切りは、10月31日(金)です。・出品していただいた方には参加賞があります。

※原則として出品物の返却はいたしません。また、取りまとめはJAくまがやで行います。

◆農業政策課(妻沼庁舎) ☎048-588-9987(直通)



## わら等の焼却防止及び有効活用のお願い

### わらは、大切な資源です。有効活用しましょう。

二毛作地帯では、わらを焼却すると地力が低下します。わらはすき込むなど堆肥化還元し、地力を高めましょう。

焼却により、市役所には「洗濯物に臭いがつく」等の苦情が多数寄せられています。

また、煙による視界不良が原因で、交通事故が起きてしまうおそれもあります。焼却を自粛していただき、やむを得ず焼却する場合は、事前に近隣住民へお声がけをするなどの周知をお願いします。

## 冬の土ぼこり対策について

冬は、強い季節風により農地から土ぼこりが発生しやすくなります。土ぼこり対策としては、緑肥作物等を作付けることが有効です。緑肥作物等で地面をおおうことで風食を防ぎましょう。

◆農業政策課(妻沼庁舎)  
☎048-588-9987(直通)

## 農業経営を法人化してみませんか？

### その課題、法人化によって解決するかもしれません！

農業経営の発展のために法人化が有効な手段になる場合があります。熊谷市内では令和6年度に7法人が設立しました。管内の法人化の事例をいくつか見てみましょう。

#### 事例① 仲間と2人で新規就農時に法人設立

経営類型: 露地野菜

きっかけ: 新規就農時と同時に

##### ポイント

複数人で経営を行う場合、法人であれば給料が役員報酬で定められるのでトラブルが起きづらく安心です。また、代表者も決める必要があるため、役割分担が明確化できます。

#### 事例② 農地を守るために地域の仲間と法人設立

経営類型: 主穀

きっかけ: 病気になってしまったこと

##### ポイント

病気を患い、後継者がいなかったため、自分ができなくなった場合に地域の大部分の農地が耕作放棄地になってしまう懸念がありました。そこで、地域の仲間と法人を設立し、皆で営農していくことに。さらに法人として従業員を雇い、地域の担い手として農地を守っています。

#### 事例③ 経営発展と従業員の福利厚生を考えて法人設立

経営類型: 露地野菜

きっかけ: 新たに正社員を雇うこと

##### ポイント

今後さらに規模拡大し経営発展を行う予定で将来的には法人化を考えていました。そこで、正社員を雇うタイミングで法人化し、労働環境を整備しました。法人化すると社会保険の加入が義務付けられ、事業者の負担は増えますが、従業員は安心して働くことができ、従業員の確保や定着につながる場合があります。

この他にも法人化は、信用力の向上、家計との分離による経営管理の徹底、事業継承の円滑化、節税など様々なメリットがあります。一方で、負担が増えるなどのデメリットもあります。大里農林振興センターでは「農業経営・就農支援センター」という相談窓口を開設し、法人化をはじめとする様々な相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

# よもやま話

## 偶然ではなく必然？

農業委員 南部第1地区

関口 裕美



農業は私には縁がない職業だと思っていました。熊谷駅の近くで生まれ、20代の時に大手電機メーカーに就職し、30代で結婚、子供を2人出産して普通の人生を送るはずでした。しかし、子供が病気になってしまい仕方なく退職することになりました。そこから私の人生が変わりはじめることになったのです。

当時、義父母が米麦をはじめブロッコリー、ネギ、夏みかん、栗、柿なども作付けしていました。病

気がちだった子供を育てながら義父母の手伝いをすることとなり不安でいっぱいでした。その時、はじめて農業の大変さや厳しさを痛感しました。それとともに採れたての野菜の美味しさとか食の大切さを知ることもできました。

義父が亡くなってからは私たち夫婦で米麦を受け継ぐことになり上手くいかないことも多々ありました。私は8年前にイチゴ栽培を始めるため研修に行きました。作付け計画から苗作り、定植、販売まで1人で作業しています。最初のころは苗が炭疽病にかかってしまい上手くいかず落ち込んだりした時期もありました。

そんな人生を振り返ると私にとって農業は偶然ではなく必然だったのかなと思うようになりました。

## 楽農経営

農地利用最適化推進委員  
北部第1地区

青木 大輔



私が代表を務める株式会社ブルーバンブーフームは、酪農を主体に、米、麦の栽培、自給飼料の生産、販売を行っている。

そして、3年前から6次化<sup>※注</sup>の取組みとして自家産の新鮮な生乳を使用したジェラートを製造し、牧場併設のカフェで販売している。牛を眺めながらジェラートが食べられる設計で、ありがたい事に連日多くのお客様で賑わっている。

年に数回イベントを開催し搾乳体験や普段使っているトラクター等の大型機械を展示したり、近隣の農家さんの農産物の販売、また約8,000㎡の圃場にひまわりを栽培し鑑賞してもらったりと、実際に見て、触れて、体験して酪農、農業の魅力を一人でも多くの方に伝えていければと思う。

お客様に楽しんでもらうのはもちろんの事だが、私自身も毎日楽しんで仕事に励んでいる。多角的な経営のため時間に追われる毎日だったり、資材や燃料の高騰、気象状況の変化による農作物への影響など様々な課題が山積みではあるが、ここでは難しい事は抜きにして、ポジティブに遊び心を常に持ち、農業経営を楽しんでいきたいと思う。

※注 6次化とは、農林漁業者が農産物などの生産(1次産業)に加えて、加工(2次産業)や流通販売(3次産業)までを一貫して手がける「掛け算(1×2×3)」による事業の多角化

**収入保険の保険料を一部補助します**

自然災害や販売価格低下など農業者の努力では避けられない損害を補償する収入保険に新規で加入される方に保険料の一部を補助します。

<b>対象者</b>	新規加入者
<b>法人</b>	令和7年4月1日～令和8年3月31日の間のいずれかの日から始まる一の保険期間に加入した法人 (申込みは保険期間開始の1か月前まで)
<b>個人農家</b>	令和8年収入保険に加入した者(保険期間：令和8年1月～12月) (申込みは令和7年12月19日頃まで)

**補助額**  
保険料の2分の1 100円未満切捨て

**上限額** 5万円

収入保険加入申込み時に補助金申請を行ってください。

**事業期間** 令和5年度～令和7年度

**補助金申請手続き**

埼玉県農業共済組合北部統括支所

問合せ先 農業政策課

048-588-9990 (直通)

### 第31回農委だより全国コンクール「全国農業新聞特別賞」受賞

全国農業会議所が主催する第31回農委だより全国コンクールにおいて、くまがや農委だよりが全国農業新聞特別賞を受賞いたしました。この賞は、全国の農業委員会が発行している農委だよりの中から特に紙面が充実している農委だよりに対して贈られるものです。

年4回発行されるくまがや農委だよりは、現在、自治会を通じて班回覧として皆様にお届けしています。今後も地域の農業の話題や最新の農業政策など盛りだくさんの内容となるよう努めてまいりますので、引き続きご愛読くださいますようお願いいたします。



特別賞を受賞した「くまがや農委だより」編集委員

◆農業委員会事務局 ☎048-501-5501



### 選挙管理委員会からのお知らせ

熊谷市長選挙・熊谷市議会議員補欠選挙が行われます。

投票日は、**10月26日(日)**です。

詳しくは右記コードからご確認ください。



◆お問合わせ 選挙管理委員会事務局 ☎048-524-1111(内線)397・398

### がん検診を受けましょう!

健康管理のため計画的にがん検診を受けましょう。

熊谷市国保、後期高齢者医療制度などの加入者は検診費用が**無料**になります。

がん検診を希望される方は、事前に熊谷保健センターへ受診券をお申し込みください。

◆お問合わせ 熊谷保健センター ☎048-526-5737 詳しくは右記コードからご確認ください。



### 特定健診・長寿健診を受けましょう

対象の方は約1万円の健診が**無料**で受けられます!

現在通院中の方も受診の対象です。ぜひ受診してください。



◆お問合わせ 保険年金課 ☎048-524-1111  
内線276・360(特定健診)、302(長寿健診)

詳しくは右記コードからご確認ください。

熊谷市  
ホームページ

#### 記事訂正

第81号(令和7年7月1日発行)8ページ「編集後記」に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。  
朝観音御開帳時間 (誤)午前10時より ⇒ (正)午前0時より

### 編集後記

実りの秋、収穫の喜びに包まれる季節となりました。

今号でも、熊谷市誕生20周年を記念し地域の特色ある農産物や生産者の取り組みに焦点を当てましたが、皆さまの活動の一端でもお伝えできていれば幸いです。

農業に関わる話題が多くなってきたこの頃ですが これからも「現場の声」を大切に、皆さまと一緒に歩む広報紙を目指してまいります。

次号もどうぞご期待ください。(編集委員 権田 久男)

#### 編集委員

- 委員 長 森 田 豊
- 委員 長 伊 藤 由 行
- 副委員 員 福 田 和 裕 行
- 委員 員 関 口 裕 美 男
- 委員 員 権 田 久 一 三 樹
- 委員 員 関 根 島 正 孝
- 委員 員 中 茂 木 秀 孝
- 委員 員 夏 目 亮 輝
- 委員 員 田 中 久 一

